

学校新聞

平成30年度  
「薫風」第3号  
7月20日(金)

# 薫風

～緑新たに風も薫れり～



発行元 東京都立大崎高等学校全日制課程 〒142-0042 品川区豊町2-1-7

校長 豊岡 耕一郎

今日で1学期も終わり、いよいよ夏休みです。勉強に、行事に、部活動にと大変忙しく過ごした人もいるかと思いますが、始業式の時に『自分に誇りを持つ』ために何をすればいいと言ったか覚えていますか。自分に誇りを持つためには、目の前の小さなことでもいいから、自分なりに課題を設定して粘り強く行動すること、その行動を積み重ねることによって自分の考え方や習慣が変わってきて、その結果、自分に自信と誇りを持つことができるようになって話しました。夏休みに入る前に今一度、1学期の行動をちゃんと振り返って見てください。もし何となく過ごしてしまったとしたら、反省するべきところは反省して、自分のやるべきことをしっかり決めて、夏休みを計画的に過ごしてください。不得意科目の克服でもいいでしょう。部活をしっかりやって体を鍛えるのもいいでしょう。普段は勉強や部活動に追われて読書する時間も取れないですから、『大崎高校生に読んで欲しい100』の本を片っ端から読んでみるのも手です。とにかく貴重な高校時代の夏休み、有意義に過ごして、人として大きく成長してほしいと思います。

私はこの1学期、朝の登校してくる様子や授業の様子、放課後での部活動での君たちの頑張っている様子等をできるだけ見るようにしてきました。公式戦も機会があれば見に行くようにしました。

バスケット部は6月10日(日)インターハイ予選で4回戦まで進み、強豪の早稲田実業と対戦しました。前半までは7点差で勝っていたのですが、後半惜しくも逆転負けを喫しました。練習試合では、勝っていたということなので、一層悔しい思いをしたことでしょう。しかしゲームに負けはしましたが、決してあきらめることなく、最後まで堂々と戦ってくれたことを誇りに思います。

野球部は7月9日(月)江戸川球場で東東京大会1回戦が行われ、強豪の都立文京高校と対戦しました。序盤は、走者を出しながらも、何とか失点を最小に抑え、5回には2点を取って1点差まで詰め寄るなど、終盤5点を取られ突き放されましたが最後までくらいついていました。炎天下の中、吹奏楽部の生徒たちも最後までしっかり演奏してくれました。どちらの部活も毎日朝早くから遅くまで練習して頑張ってきた成果だと思います。3年生はこれで引退となりましたが、これからは自分の進路実現のため、部活で培ってきた集中力と努力する姿勢を存分に生かしてください。これは全ての3年生に言えるのですが、これまでの努力の成果がでないとか、成績が伸びないからといって、簡単に目標を下げたり、安易に推薦に走ったり、楽な方向に流れてしまう人がいます。勉強は自分との戦いです。高い志をもって、最後まで諦めずに、粘り強く頑張ってください。

これからも、部活の公式戦や発表会は機会があればできるだけ見に行って、君たちの活躍を見届けたいと思っています。

それでは、体調にはくれぐれも気を付けて、9月1日の2学期始業式に皆さん元気な笑顔を拝見できることを楽しみにしています。



## 充実の夏に

生活指導部 田中 信吾

いよいよ、明日から夏休みです。1、2年生は、部活、行事の準備、もちろん勉強にも、普段以上に時間を使えるはず。また、3年生は自分自身の道を切り開くために、普段以上に努力を求められる期間になることでしょう。授業がない期間だからこそ、「自分で自分を律することができるか」が問われます。「活動開始時間に遅れない」「予定内容をきちんと最後までやりきる」など、自分からすすんで行動することが必要になります。人から指示されてから行動するのではなく、自ら考え、行動する力が必要なのです。

1年生、高校生として活動する心構えを整えてください。

2年生、部活など3年生が引退し、学校生活の中心となる覚悟を持ってください。

3年生、自分の進路のためですから、もう十分に覚悟はできていますよね！

学校外で過ごす時間も、多くなると思います。普段できない体験を積むことも大切ですが、誘惑に負けて、学校生活が始まったときに指導を受けるようなことが無いようにしましょう。

自分自身の行動に責任と覚悟をもち、安全に十分注意して、この長い夏休みを過ごしてください。

## 大崎の夏、進路の夏！

進路指導部 廣見 卓哉

1学期が終わりに近づき、夏休みに入ります。この1学期の取り組みはどうだったでしょうか。各人それぞれだとは思いますが、過ぎ去った過去はもう取り戻せません。後悔先に立たずとはよくいったもので、後悔しても始まらないので、充実させられた人も、そうでない人も前を向いて、残された高校生活を有意義なものとして欲しいと思います。但し、振り返りと反省は必要です。あの剣の達人、宮本武蔵も言っています。「我、事において後悔せず、反省するのみ。」いい言葉ですね。1学期の取り組みに何が足りなかったのか、どのような改善点があるのか、しっかり見つめ直した上で夏休みに軌道修正を図り、しっかり勉強して下さい。

さて、1年生は、高校生活に慣れ、いよいよ2学期に向けて勉強、部活と高校生活を充実させるべく取り組みを強化して下さい。この学年は新しい制度での大学入試制度で受験することになります。センター試験に代わる新テストでは英語については英検など民間の試験を利用して、4技能を測定し、その点数を入試に利用することになりそうです。また国語、数学では記述問題が出題され、表現力も問われます。これへの対策は時間がかかると思います。この夏から、英検対策問題集などを買い、英語を聞く、話す力を養ってください。表現力についてはまず読めなければ、表現できませんね。「急がば回れ読書」ということで、ちょっと背伸びをした読書をしましょう。

2年生はいよいよ中心学年として、秋の怒涛の高校生活に向け、準備を怠らないようにしましょう。黎明祭から競歩遠足と続きます。また、進路決定に向けても大詰めです。2学期には3年で取る選択科目も決定しなければなりません。大学受験を考え、この夏にはオープンキャンパスに行き、相手を知って下さい。「彼を知り己を知れば百戦あやうからず。」と孫子も言っています。いい言葉ですね。モチベーションアップしていきましょう。

そして、3年生諸君。大学進学希望の者が多いと思います。まさに入試の天王山と言われる夏です。目標、計画をしっかりと立てて臨みましょう。自分の弱さに打ち勝ち、成果が出ると達成感、自分に対する自信など、計り知れないご褒美が待っています。若いうちにがむしゃらに勉学に打ち込んだという経験は将来必ず役に立つと信じています。健闘を祈っています。

夏だ！ファイト大崎！我ら大崎、誇りを胸に！！

## 第一志望合格をめざして充実した夏休みにしよう

第3学年主任 大嶽 敦

夏休みは生活のリズムを崩さず、早寝早起き等普段の生活習慣を保ち、毎日の学習時間を確実に増やすこと。NOLTY手帳等を活用して計画的に生活を送ろう。

### 1 A0・推薦（指定校・公募）での進学、就職の志望者へ

自己分析と志望する学校（大学・短大・専門学校）の研究すること。または、就職志望者は志望する企業の研究をすること。

面接試験は、自分をアピールする最大の場となります。ですから、「自分はどんな人間か」ということについて自分自身をよく振り返り「自分について」まとめること。面接官に素直に、魅力的に話せるようにすること。 ※ 「進路の手引」(P30～)を活用しよう。

それから、学校研究をすること。志望する学校について調べて研究すること。学校の特色、学びたい授業等について関心を高めること。その上で、①なぜこの学校に入学したいのか、②その学校で何を学びたいのか、③その学校で学んだことをその後の将来にどのように生かしたいのか、について考えを深めてまとめること。

就職志望者についても、求人票にある企業の研究をして、①なぜこの会社に就職したいのか。②その就職してどんな貢献をしたいのか、社会にどんな貢献ができるのか、等について考えを深めてまとめること。担任の先生との連絡を密にすることを忘れずに。夏休みに試験があるA0受験者は、ゆとりを持って準備すること。

### 2 一般受験での大学・短大進学志望者へ

模試の成績（偏差値）をもとに対策をたてて勉強すること。

進研模試（ベネッセ）では、100点満点のテストならば得点35点で、偏差値は50に設定されていて、3点得点するとごとに偏差値1UPとのこと。偏差値50に届くためには基礎、基本を定着させること。基本問題をしっかりと解けるようにする。

例えば、進研模試（ベネッセ）の場合、数学ならば各大問題の最初の問題になりかすが、基本問題がすべて正解ならば偏差値が50に乗るとのこと。

偏差値50以上ならば苦手教科、科目の対策、勉強を積極的にすること。ケアレスミスをなくしたり、部分点を得点にするだけでも成績は高くなります。

現在、模試の結果が不良・不振だからといって志望校を下げないで、この夏休み、勉強に頑張ろう。そして夏休みの勉強の成果を今後の模試で出そう。自己としっかりと向き合おう

全員合格

## 自己を大きく成長させる夏休み

第2学年主任 小島 弘之

夏休みの宿題の一つに上級学校を3校以上訪問するというものがあります。猛暑のなかではありますが、しっかりと体調管理をしながら関心のある大学、短大、専門学校を訪問してください。まだ進路が明確になっていないという諸君もいると思いますが、まず、オープンキャンパス・スケジュール手帳を見て、今興味がある分野の学校を訪問しましょう。

進路を決定するにあたっては、まず何よりもしっかりと自己と向き合うことが大切です。自分の本当に関心のある学問は何なのか。自分の得意分野、長所は何なのか。夏休み中にこのようなことから自己と対話をしながら明確にしてほしいと願っています。また、進路の選択にあたっては、保護者をはじめとする大人や、友人と語り合うことも大切です。焦る必要はありませんが、のんびりと先延ばしにしているいつまでも進路は決まりません。進路決定にあたっては、この夏休みはきわめて大切な時期となります。有効に夏休みの時間を使ってください。

夏休みは生活が不規則になりがちです。夏休みの生活を充実したものとするために、ぜひノルティ―手帳を活用してください。起床、就寝の時間や、一週間のスケジュールを手帳に記し、計画的に夏休みの日々を過ごしてください。夏休みに読みたい本や鑑賞したい映画のタイトルなどを手帳に記しておくのもよいでしょう。何か一つ夏休みの目標を設定してそれを手帳に書いておくのもお奨めです。部活動の合宿や夏季講習に参加する諸君もいますが、参加するからには手を抜かず、真剣にチャレンジしてください。流した汗は無駄にはなりません。努力はきっと実ります。メリハリをつけて、リラックスする時と真剣に過ごす時とを明確にし、自己を大きく成長させる夏休みをしてください。期待しています。

## 充実した夏休みを過ごすために！

第1学年主任 伊堂寺 豊

高校生活が始まり、あっという間に3か月が過ぎ、夏休みを迎えることになりました。時が過ぎるのは早いものです。高校受験に合格し、思い描いていた高校生活と比較してどうですか？1年生の皆さんの様子を見てみると、学校生活にも慣れ、学校行事・部活動・委員会活動、そして勉強に励んでいる姿が見られ、充実した学校生活を送っている人も多いのではないのでしょうか？もちろん、全てが思い通りにいくわけではありません。「今がつまらない」と思っている人は、この夏休みに何かに取り組んでみましょう。周りの環境のせいにはせず、変えたい、変わりたいと前向きに思っている人は、自分次第で変われますよ！さて、これから約40日の夏休みがやってきます。今までに、夏休みが何もしないうちにあっという間に終わってしまったという経験はありませんか？夏休みを充実させるかは自分次第です。

### ●充実した夏休みを過ごすためにやってほしいこと

- 1、規則正しい生活を送ること。起床・就寝時間を守り、3食しっかり食べること。
- 2、①目標を持つ ②計画を立てる ③実行する ④評価すること。(振り返る)
- 3、宿題を早めにやる。9月4日のテスト勉強をすること。
- 4、2学期に、「今年の夏休みは〇〇〇をやったから充実した夏休みを過ごせた」と、みんなに話せる何かをやること。
- 5、休む時には休むこと。切り替えが大切です。2学期に夏休み気分が抜けないのは困ります。一回りも二回りも大きく成長した姿で、2学期に会えることを楽しみにしています。